

背景・課題

当地域は県内屈指の米産地で、水稻との複合部門としてかきやおうとうなどの栽培が盛んである。水稻では環境に配慮した取組が進められている一方、果樹での取組はほとんどない。また、労働力不足が深刻化している。

このため、果樹剪定枝の炭化・施用やリスクの低い農薬への転換、太陽光発電を利用した無人草刈機の活用による省力化など、先進的な技術を実証・検討する。



鶴岡市

構成員

庄内たがわ農協、鶴岡市農協、鶴岡市、山形県庄内総合支庁農業技術普及課、庄内産地研究室

品目

おうとう、かき

目指すグリーンな栽培体系

- 温室効果ガスの削減(目標面積：おうとう3ha、かき7ha)
- 化学農薬の使用量低減(目標面積：おうとう3ha、かき7ha)

取組の内容

生産

- 温室効果ガスの削減（環境負荷軽減）
 - ・開放型炭化器による果樹剪定枝の炭化（バイオ炭生成）、施用の検証
 - ・バイオ炭化熱を利用した防霜効果の検討
 - ・太陽光パネル＋自律走行無人草刈機によるCO²排出削減検討
- 化学合成農薬の使用量低減
 - ・おうとう：ハダニ対策として天敵、気門封鎖剤の検証
 - ・かき：カイガラムシ対策における昆虫成長制御剤の検証
- 省力化：自律走行無人草刈機による除草効果・労力軽減効果の検証

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組時期	🍒	摘果	収穫・選果	夏季剪定			防除				整枝・冬剪定・摘芽	
	🍊	摘蕾		摘果		防除		収穫・選果			整枝・冬剪定	

①温室効果ガスの削減
果樹剪定枝の炭化（バイオ炭）



②化学合成農薬の使用量低減
天敵（カブリダニ）の利用等



③省力化
太陽光パネル
＋自律走行無人草刈機



普及に向けた取組

- 当協議会では上記の取組を実証圃3か所（現地圃場2か所、産地研究室圃場）で実施し、研修会等の開催により生産者へ先進的な技術の紹介を行っている。
- 実証された「グリーンな栽培体系」に関する栽培マニュアルを作成し、研修会などを通して、生産者の意識醸成と栽培体系の導入推進を図る。また、技術資料の作成・配布により情報発信を行い、生産者・市場関係者等の認知度向上を図る。

問い合わせ先

山形県庄内総合支庁産業経済部 農業技術普及課産地研究室
TEL：0234-91-1250